

「みなとの物語－咲くやこの花賞受賞者、フランス新鋭作家展－」

一般財団法人おおさか創造千島財団（所在地：大阪市住之江区 理事長：芝川能一）は、10月18日(金)～20日(日)の3日間、大阪、フランスの若手アーティストによる展覧会「みなとの物語－咲くやこの花賞受賞者、フランス新鋭作家展－」を開催致します。

咲くやこの花賞の受賞者4名他が出展

創造的で奨励に値する芸術文化活動を通して、大阪文化の振興に貢献し、かつ将来の大阪文化を担うべき人材に対し、大阪市が1983年から贈呈している「咲くやこの花賞」。2012年の美術部門を受賞した現代美術作家 後藤靖香氏は、2011年の「おおさかカンヴァス推進事業」にて、名村造船所大阪工場跡地に残る旧製図室に劇画「床書き原寸」(千島土地株式会社蔵)を展示しました。この作品は、造船所跡地にインスピレーションを得て、北加賀屋エリアでのフィールド・ワークを積まれた後に描かれたものです。



本展では、後藤氏のほか関西を活動拠点に国際的に活動する同賞受賞作家4名(組)と、フランスで63年の歴史を誇る公募展「JEUNE CREATION」選出作家2名により、造船所の特異な環境を活かした展覧会を開催します。

造船所跡地という「みなと」ではじまる、日仏若手作家がつむぐ物語を、この機会に是非ご高覧ください。

開催概要	
タイトル	「みなとの物語－咲くやこの花賞受賞者、フランス新鋭作家展－」
出展作家	後藤靖香、三宅砂織、淀川テクニック、パラモデル [咲くやこの花賞歴代受賞者] Enrique RAMIREZ、Lola REBOUD [JEUNE CREATION 選出者]
会期	2013年10月18日(金)～20日(日) ※入場無料
会場	名村造船所大阪工場跡地(クリエイティブセンター大阪) [大阪市住之江区北加賀屋4-1-55] 【アクセス】地下鉄四ツ橋線「北加賀屋」駅下車 4番出口より徒歩約10分
主催	一般財団法人おおさか創造千島財団、千島土地株式会社
協力	TEZUKAYAMA GALLERY、アンスティチュ・フランセ関西、ART OSAKA 実行委員会
同時開催	咲くやこの花芸術祭 2013(大阪市中心公会堂全館、大阪市役所) 北加賀屋みんなのうえん収穫祭 2013(名村造船所大阪工場跡地) すみのえ・アートフェスタ 2013(名村造船所大阪工場跡地)

■本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人おおさか創造千島財団 事務局

〒559-0011 住所：大阪市住之江区北加賀屋2-11-8 北加賀屋千島ビル4F

TEL：06-6681-7806 FAX：06-6681-6188 ホームページ：www.chishimatochi.info/found

参考資料

出展作家一覧



「床書キ原寸」
各 210×900cm/2011/顔料、ジェツソ、カンバスに墨汁

後藤靖香 Yasuka Goto

1982年広島県生まれ。2004年京都精華大学芸術学部造形学科洋画コース卒業。幼少期より祖父や大叔父の戦争体験を聞き、過酷な時代を生き抜いた人々の強さに惹かれ作品を描きはじめ、現在、働く人々をテーマに制作を行っている。主な展覧会として、個展「床書キ原寸」おおさかカンヴァス推進事業 2011(名村造船所跡地,大阪,2011)、「ART STAGE SINGAPORE/Project stage」(Marina Bay Sands Exhibition and Convention Centre,シンガポール,2013)、「机上の空砲」(TEZUKAYAMA GALLERY,大阪,2013)、グループ展「コレクションの誘惑」(国立国際美術館,2012,大阪)など。2012年絹谷幸二賞(毎日新聞社主催)受賞、咲くやこの花賞〔美術部門〕他。

【WEB サイト】[yasuka510-後藤靖香-] <http://d.hatena.ne.jp/yasuka510/>

三宅砂織 Saori Miyake



「Aの中の1と2」
83×216cm/2012/ゼラチンシルバークラウド
(2枚並べた状態、左右それぞれは83×108cm)

1975年岐阜県生まれ。1998年京都市立芸術大学美術学部美術科卒業。1999年Royal College of Art(ロンドン)交換留学。2000年京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。写真や広告などのイメージに潜在する思念、形式、シチュエーションから、個人の内在と対象化された世界との関係性について絵画的な視点から考察したフォトグラム(カメラを使わない写真)を制作。

主な展覧会として、個展「Abstract dislocation」(FUKUGAN GALLERY,大阪,2013)、「realities or artifacts」(Gallery Nomart,大阪,2011)、グループ展「キュレーターからのメッセージ 2012 現代絵画のいま」(兵庫県立美術館,兵庫,2012)など。2010年VOCA賞(グラプリ)、2011年咲くやこの花賞〔美術部門〕。

【WEB サイト】[三宅砂織] <http://saorimiyake.tumblr.com/>

淀川テクニック Yodogawa Technique



「若林 100年プランコ」
420×350cm/2012/津波で押し流された防風林の松の木

柴田英昭(1976年岡山県生まれ)と松永和也(1977年熊本県生まれ)により2003年に結成されたアートユニット。

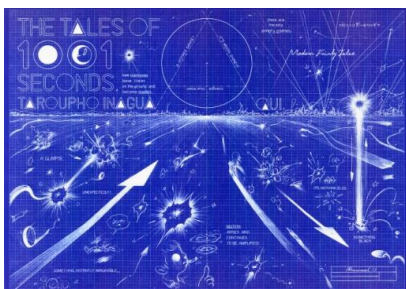
大阪・淀川の河川敷を主な活動場所として、落ちているゴミや漂流物などを使い様々な作品を制作する。赴いた土地ならではのゴミや人々との交流を楽しみながら行う滞在制作も得意とし、最近では東日本大震災で甚大な津波被害を受けた宮城県仙台市若林区で地元の方々の協力のもと被災した防風林を使った作品を制作した。活動や作品は中学校の美術の教科書でも紹介されている。

【WEB サイト】

[yukari art] http://yukari-art.jp/jp/yodogawa_technique

[淀テク日記] <http://yodogawa-technique.cocolog-nifty.com/>

パラモデル [paramodel]



稲垣足穂『一千一秒物語(Modern Fairy Tales.)』にもとづく青写真の連作
一千一秒物語 (Modern Fairy Tales.)
51.2x72.8cm/2012/diazo print
(c)paramodel, courtesy of MORI YU GALLERY

林泰彦(2001年京都市立芸術大学構想設計専攻卒業)と中野裕介(2002年同大学大学院絵画専攻日本画修了)からなるアートユニット。2001年より活動開始、2003年にユニット名を「パラモデル」に。共に東大阪出身。

得意領域や趣向の異なるパラレル [parallel] な2人が、『パラモデル [paramodel]:世界や心の様々な部品から組み立てる、詩的な模型/設計図』というコンセプトを核に共存、互いの視差 [parallax] と関係性を生かし、2人による「模型遊び」という要素をベースに、多様な形式で作品を制作。

ローラルブー Lola REBOUD

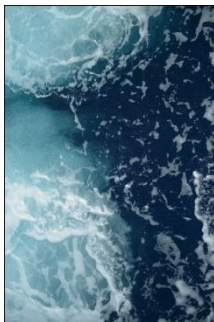


©Reykjavik, 2012 © Lola Reboud

1982年フランス マルセイユ生まれ。パリ・セルジー国立高等美術学校で基礎を学び、さらにソルボンヌ(パリ大学)で美学を、国立高等装飾芸術学校で写真を専攻。その後、エリオット・エルウィット、アレック・ソス(USA)、イト・バラダ(モロッコ)などのアシスタントを務める。彼女の作品は、既に数多くの展覧会、フェスティバルで展示されている、ジュヌ・クレアシオン公募展、パリフォト、アンスティチュ・フランセ・レイキャヴィク、ボーヴェのPhotomnales、オランダのNoorderlichtPhoto、マルセイユ・プロヴァンス・フェスティバル2013、アニエス b ギャラリー、KYOTOGRAPHIE など)。パリとマルセイユで活動している。

【WEB サイト】[LOLA REBOUD]<http://www.lolareboud.com/>

エンリケ・ラミレス Enrique RAMIREZ



© Enrique Ramirez

1979年チリのサンティアゴ生まれ。サンティアゴのアンスティチュ・アルコスにて音楽とコミュニケーションを学び、オプシオンで映画を専攻。2007年にはフランス トゥーコワンにあるLe Fresnoy(国立現代アート・スタジオ)に入所する。彼の作品は、楽園を追放された現代人の人格化のプロセスに、情緒的な侵入を繰り返し試みているかのようである。映像の雰囲気は瞑想的な自然であり、風景、そよ風、水、砂などすべてが習慣的な観点を作りだすために協力しているかのようである。彼の作品にある広大な風景は詩的な空間のようである、この開かれた映像の世界のそぞろ歩きへと見る人を誘っているかのようである。

【WEB サイト】[works and project of Enrique RAMIREZ] <http://enriqueramirez.net>

【企画連携】

咲くやこの花祭 2013

【期日】2013年10月18日(金)~20日(日)
 【会場】大阪市中央公会堂全館、大阪市役所
 【問合先】新進芸術家プロモート事業実行委員会事務局(i・ディレクションズ内)
 TEL. 06-6372-6707(平日 10:00~17:30) FAX.06-6372-3691
 【WEB】<http://sakuya-konohana.com>

【関連企画】

ニュー・ブランシュ KYOTO 2013

【期日】2013年10月5日(土)18時~
 【会場】京都国際マンガミュージアム、アンスティチュ・フランセ関西、京都芸術センター、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA ほか
 【参加アーティスト】高嶺格、ダヴィデ・ヴォンパク、ミコ・イネニン、カティ・オリーフ、高橋匡太、ニジミアツシ、河合政之、双子の未亡人、エリック・シェーファー、ウルリケ・ハーゲ ほか
 【WEB】<http://www.nuitblanche.jp>

JEUNE CREATION

【期日】2013年11月9日(土)~17日(日)/内覧会 11月8日(金)
 【会場】Le Centquatre
 【出展作家】鈴木悠哉 / Yuya Suzuki (ART OSAKA 2013 選抜作家)ほか、56名
 【問合先】jeunecreation@gmail.com (JEUNE CREATION, Paris)
 【WEB】<http://www.jeunecreation.org/>

参考資料

■クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)

産業遺産である造船所跡地に遺された工場などの遺構を活用し、創造活動のためのスペースとして2005年にオープンした。1988年まで(株)名村造船所の工場として利用されていた当地は、ドック(船渠)や工場などの建造物を残したまま、土地を所有する千島土地株式会社(おおさか創造千島財団の設立者、所在地:大阪市住之江区)に返還され、その後活用方法を模索していたが、2004年にこの地を拠点として、30年にわたって新しい芸術の提示・考察・検証・記録を行うアートプロジェクト「NAMURA ART MEETING '04-'34」がスタート。翌年には造船所の遺構を恒常的な創造の場として活用するため、旧事務所棟を改装した創造スペース「BLACK CHAMBER」を開設し、既存のスタジオ「PARTITA」とあわせて、敷地内施設を「クリエイティブセンター大阪(CCO)」として組織して、「廃墟のポテンシャルをいかす」という独特のコンセプトで運用が始まった。2007年には経済産業省より「近代化産業遺産群33」のひとつに認定され、行政(住之江区役所)や住民も参画してアートを切り口とした地域の活性化に取り組んでいる。



(2009年「NAMURA ART MEETING '04-'34 vol.03」)

©八久保敬弘

■「ラバー・ダック」

2009年夏、千島土地株式会社(所在地:大阪市住之江区)の地域創生・社会貢献事業の一環として、オランダ人アーティストのフロレンティン・ホフマンの作品「ラバー・ダック」を大阪・中之島付近の河川上に初展示。「水都大阪2009」を民間の立場から応援するとともに、より多くの方に現代アートを身近に感じていただくことを趣旨に企画した。川面に突如現れた高さ9.5mの子アヒルのオブジェは、その愛くるしい表情と驚くべき大きさがたちまち人々の心をつかみ、一躍水辺の人気者に。その後もリクエストに応じて、中之島付近や名村造船所大阪工場跡地にたびたび登場している。

【作家情報】

フロレンティン・ホフマン(Florentijn Hofman)

オランダ・ロッテルダムを拠点とし、公共空間における巨大な作品の展示を継続的に行っている。

アーティスト公式ウェブサイト <http://www.florentijnhofman.nl/>

(2011年 名村造船所大阪工場跡地での展示)